



平成25年度 産業技術大学院大学産業技術研究科

AIT単位バンク登録生（科目等履修生）出願要項

[第1クオータ～第4クオータ募集]

昨年度に本学のAIT単位バンク生（以下、科目等履修生と記載）であった方が履修申請する場合は、この要項とは手続が異なります。
詳細は、産業技術大学院大学管理部管理課までお問い合わせください。

1 科目等履修生概要

- (1) 科目等履修生として履修できる者は、履修しようとする授業科目（以下「科目」という）を学習する能力があると認められた者に限ります。
- (2) 履修期間は平成25年度内とします。ただし、次年度以降も引き続き履修しようとする者は、新たな出願は不要とします。
- (3) 履修を出願できる科目は、別紙「平成25年度科目等履修生時間割」に記載されている科目です。この中から**当該年度12単位以内**で履修を申請することができます。
- (4) 科目等履修生は許可された科目につき試験を受けることができます。試験及び出席状況に基づき科目修了の認定を得た者には、願出により修得した単位の証明書を交付します。
- (5) 科目等履修生として修得した単位は、“AIT単位バンク”に蓄積することができます。 →後述「11 AIT単位バンク制度について」参照
- (6) 科目等履修生は許可された科目以外の授業には出席できません。
- (7) 科目等履修生は、学内において科目等履修生身分証明書を携帯してください。また、本学諸規則を遵守してください。

2 出願資格

以下の（1）及び（2）の要件を満たす者は出願することができます。

- (1) 以下の①～⑧のいずれかに該当する者。
 - ①日本の大学を卒業した者及び平成25年3月末日までに卒業見込みの者
 - ②学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成25年3月末日までに授与される見込みの者〔大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成25年3月末日までに授与される見込みの者〕
 - ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成25年3月末日までに修了見込みの者
 - ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成25年3月末日ま

でに修了見込みの者

- ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び平成25年3月末日までに修了見込みの者
- ⑥専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成25年3月末日までに修了見込みの者
- ⑦文部科学大臣の指定した者〔（昭和28年文部省告示第5号）旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者等〕
- ⑧その他本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成25年4月1日現在22歳に達する者（詳細につきましては、3ページをご参照ください。）

産業技術大学院大学における出願資格（1）の⑧において出願しようとする者の事前審査について

外国の大学を卒業した方（出願資格（1）の③、④、⑤）は、本ページの対象外です。

1、入学資格

学校教育法施行規則第155条第1項第8号に規定する大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの

2、入学資格対象者の個人の能力の個別審査の実施

該当する者に対しては、出願に先立ち、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力の有無に関する事前審査を実施する。事前審査に合格した者が入学試験に出願することができる。

3、事前審査の方法

事前審査は書類審査により実施する。

4、最終学歴以降の研究期間（専門に関する実務経験年数）等の要件

- (ア) 修業年限2年の短期大学卒業者 2年以上
- (イ) 修業年限3年の短期大学卒業者 1年以上
- (ウ) 高等専門学校の卒業者 2年以上
- (エ) 修業年限が2年以上の専修学校の専門課程の卒業者

大学の修業年限（4年）から専門課程を置く専修学校の修業年限を控除した期間以上

- (オ) 外国の大学の日本校、外国人学校、専修学校（専門課程を除く）、各種学校その他国内外の教育施設の卒業又は修了者

大学卒業までの最短就業年数（16年）から最終学校卒業又は修了までの最短修業年数を控除した期間以上

- (カ) 上記（ア）から（オ）までに掲げる学校の退学者

大学卒業までの最短就業年数（16年）から当該退学した学校の退学時までの修業年数を控除した期間以上

5、事前審査書類

1. 研究期間（専門に関する実務経験年数）における研究経歴、職務経歴、職務実績等を詳細に示す書類。原則として直属の上司の推薦書などを添付すること。
2. 専攻の専門分野に関して獲得した資格を有する者については、それを証明する書類（独立行政法人情報処理推進機構が実施する情報処理技術者試験の合格証明書など専攻の専門分野に関する資格を有することを証明する書類の写しなど）

6、事前審査基準

次の1および2の要件を満たすものを事前審査合格者とする。

1. 上記4の最終学歴以降の研究期間（専門に関する実務経験年数）等の要件を満たすこと。
2. 上記5の事前審査書類について事前審査委員会の審議において十分な研究経歴、職務経歴、職務実績等を認めることができること。

以上

3 出願資格の事前審査

(1) 出願資格の要件（1）の③、④、⑤、⑧により出願しようとする方については事前に資格審査を行いますので、次の必要書類を提出してください。なお、本要項に添付されている本学所定の用紙を使用してください。

（2）必要書類

※出願資格（1）の③、④、⑤の者

- ・調査票（本学所定の用紙）
- ・出身大学の卒業証明書又は卒業見込証明書（日本語又は英語訳添付）
- ・出身大学の成績証明書（日本語又は英語訳添付）

※出願資格（1）の⑧の者

- ・調査票（本学所定の用紙）
- ・最終学歴出身学校の卒業証明書又は卒業見込証明書（日本語又は英語訳添付）
- ・研究期間（専門に関する実務経験年数）における研究経歴、職務経歴、職務実績等を詳細に示す書類。原則として直属の上司の推薦書などを添付してください。
(職務経歴書は様式例を添付しています。7ページを参照してください。)
- ・専攻の専門分野に関して獲得した資格を有する者については、それを証明する書類（独立行政法人情報処理推進機構が実施する情報処理技術者試験の合格証明書など専攻の専門分野に関する資格を有することを証明する書類の写しなど）

（3）提出期限・提出時の注意

平成25年3月11日（月）（郵送の場合必着）

提出先：産業技術大学院大学 教務学生入試係

提出方法：必ず事前に連絡の上持参してください。郵送でも受け付けますが、書類に不備がある場合、受理することができませんのでご注意ください。

電話：03-3472-7834

出願資格を満たさない場合は、受験できませんので注意してください。

4 出願期間及び出願方法

（1）願書受付締切

平成25年3月22日（金）まで（当日消印有効）（郵送または窓口持参）

【送付先】（郵送の場合）

〒140-0011

東京都品川区東大井1-10-40

産業技術大学院大学 管理部管理課教務学生入試係 科目等履修生担当あて

郵送する場合は、必ず書留にしてください。

（2）受理票の送付

受理した書類を点検・確認後、受理票を送付します。3月25日（月）までに受理票が届かない場合は、産業技術大学院大学管理部管理課教務学生入試係まで連絡してください。（電話：03-3472-7834）

5 出願書類等

志願者は、次の書類を一括して産業技術大学院大学管理部管理課に提出してください。

- (1) 科目等履修生願書
- (2) 科目別履修申請書（1科目につき1枚提出してください。）
- (3) 卒業証明書又は大学評価・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書
- (4) 入学考查料9,800円の振込金（兼手数料）受取書

※入学考查料を本要項に添付されている振込依頼書を使用して、金融機関の窓口で納付してください。振込手数料はご負担いただきます。ただし、みずほ銀行本支店からの振込の場合、振込手数料は不要です。ATM（現金自動預け払い機）等機械処理での振込及びゆうちょ銀行での振込みはできませんのでご注意ください。

- (5) 受理票送付用封筒（志願者の住所・氏名を記入の上、80円分の切手を貼ってください。）
- (6) 登録原票記載事項証明書（外国籍の方のみ）

6 出願上の注意事項

- (1) 受理した書類及び納入された入学考查料は返還しません。ただし、入学考查料を納付したが出願しなかった場合、または二重に納付した場合は、入学考查料の返還申請ができますので、産業技術大学院大学管理部管理課へご連絡ください。
- (2) 出願書類に不備がある場合は、受付期間内に補正がなければ不受理となります。
また、出願期間を過ぎた出願書類は受理しません。
- (3) 科目的追加変更はできないので、出願の際に十分に検討してください。
- (4) 各科目の詳細内容については、シラバスを参照してください。シラバスは、本学Webサイトで閲覧できます。→<http://aiit.ac.jp/>

7 募集人員

若干名

※ただし、各科目の定員は、正規学生の学修の妨げとならない範囲としますので、特定の科目に履修申請が集中した場合は、履修できないことがあります。

8 選考方法

書類審査により選考します。

9 合格発表

平成25年3月29日（金）（掲示により、合格者の発表を行います。）

産業技術大学院大学 品川シーサイドキャンパス 事務室前

※同日・同時刻に、ホームページ上でも確認できます。

※合否について電話・郵便等での問い合わせにはお答えできません。

※合格者へは、産業技術大学院大学から郵送で手続書類一式を送付します。

（4月5日（金）までに発送予定）

10 履修手続

合格者は下記の期間内に、授業料を金融機関に払い込み、履修手続書類を提出（郵送

又は持参）してください。履修手続及び払い込みを行わない場合は、履修を辞退したものとして取り扱います。

(1) 手続期間

平成25年4月1日（月）～平成25年4月8日（月）

(2) 提出書類

- ①履修生原簿兼誓約書
- ②A I I T 単位バンク登録書
- ③授業料払込金受取書のコピー

(3) 授業料

1単位につき14,400円

11 A I I T 単位バンク制度について

本学の科目等履修生は、全てA I I T 単位バンク登録生として登録されます。

A I I T 単位バンクとは、科目等履修生として修得した単位を蓄積し、正規学生として入学した際に活用する制度です。

A I I T 単位バンクに蓄積した単位は、本学に正規学生として入学すると、正規学生の単位として認定を受けることができます。※1

また、正規学生として入学した際には、科目等履修生として支払った授業料に相当する額を、正規入学後の授業料から減免することができます。※2

※1 A I I T 単位バンクに蓄積した単位の有効期間は5年間です。単位修得後5年以内に受験して正規入学した場合、正規学生の単位として認定されます。

※2 正規入学後に授業料減免申請手続をすることにより、(正規学生の単位として認定を受けた単位数) × (科目等履修生1単位あたり授業料) を正規入学初年度の授業料から減免することができます。なお、授業料の改定があった場合は、改定後の授業料が適用されます。

【問い合わせ先】

産業技術大学院大学

管理部管理課教務学生入試係

〒140-0011

東京都品川区東大井1-10-40

電話：03-3472-7834

FAX：03-3472-2790

職務経歴書（例）

平成〇〇年〇〇月〇〇日現在
氏名：〇〇 〇〇 印

■職務経歴

〇年〇月 〇〇〇〇〇〇〇〇株式会社入社
〇〇〇〇部に配属

〇年〇月 〇〇〇〇部に所属
現在に至る

■業務内容

〇〇株式会社

期間	内容	役割

■取得資格等

〇年〇月 〇〇〇〇スペシャリスト
〇年〇月 〇〇〇〇技術者

■得意分野／スキル

- ・ 〇〇〇の設計
- ・ 〇〇〇業務知識
- ・ 〇〇〇〇〇

産業技術大学院大学 産業技術研究科
平成25年度科目等履修生 出願資格審査申請書

区分	姓	Middle	名	生年月日	年月日
フリガナ				年齢	歳 *平成25年4月1日現在
氏名				性別	男・女
アルファベット				国籍	
現住所	〒 電話				
日本国内連絡先 (本人と速やかに連絡ができるところ)	〒 電話				
学歴	区分	学校名		正規の修業年限	入学及び卒業年月日
	初等教育 (小学校)			年～年	年月 年月
	中等教育 (中学校)			年～年	年月 年月
	中等教育 (高等学校)			年～年	年月 年月
	高等教育 (大学)			年～年	年月 年月
				年～年	年月 年月
計				年	年
職歴・研究歴	勤務先・研究所等の名称			身分	従事期間
					年月 年月
					年月 年月
					年月 年月
	計				年

(注意)

1. 学歴欄は空白期間のないように記入し、正規の修業年限も併記すること。
2. 職歴が複数ある場合は、年月が古い順に上から記入すること。
3. 高等教育機関の学歴については、卒業証明書を添付すること。

平成 25 年度 科目別履修申請書 (産業技術大学院大学)

科目No.

※印欄は記入しないでください

ふりがな		※印欄は記入しないでください		受理番号	※	判定	※
氏名		生年月日	年 月 日 歳 (平成25年4月1日現在)				
		担当教員					
科目名		開講期	第 クオータ				
		曜日・時限	曜	限／	曜	限	

- 1) この授業科目の履修を志望する理由を具体的に記入してください。

選考のための重要な判定資料になるので詳しく記入してください。

- 2) この授業科目に関する基礎知識の有無を具体的に記入してください。

選考のための重要な判定資料になるので詳しく記入してください。

- 3) この授業科目に関連のある授業科目で、過去に履修(聴講)した科目名、単位取得の有無、及び
　　今年度履修(聴講)予定の科目について記入してください。(他大学、他機関を含めて記入してください)

科 目 名	教員名（大学名）	単位	科 目 名	教員名（大学名）	単位

※ 大学記入欄

*この用紙は、1科目につき1枚提出してください。用紙が不足する場合は、用紙をコピーして使用してください。